

令和 3(2021)年度 新規就農者育成研修 報告書



NPO法人九州エコファーマーズセンター

目 次

1.はじめに	1
2.令和3(2021)年度研修生進路	1
3.研修風景	2
4.巡回指導(現役研修生)	4
5.巡回指導(修了生)	5
6.就農相談	5
7.研修相談	5
8.集合研修セミナー	
(1) 第1回集合研修セミナー	7
(2) 開始式	8
(3) 第2回集合研修セミナー	9
(4) 第3回集合研修セミナー	10
(5) 第4回集合研修セミナー	12
(6) 第5回集合研修セミナー	13
(7) 第6回集合研修セミナー	
(第1回 JA 熊本中央会主催県下新規就農研修生合同研修会)	14
(8) 第7回集合研修セミナー	16
(9) 第8回集合研修セミナー	
(第2回 JA 熊本中央会主催県下新規就農研修生合同研修会)	17
(10) 第9回集合研修セミナー	
(第3回 JA 熊本中央会主催県下新規就農研修生合同研修会)	19
(11) 第10回集合研修セミナー	
(第4回 JA 熊本中央会主催県下新規就農研修生合同研修会)	21
(12) 令和4年1月以降の集合研修セミナー・修了式は延期	22

1.はじめに

令和3年4月～令和4年3月は、16名の研修生を対象として研修を実施した。内、6名が独立就農、1名が親元就農、1名が雇用就農、8名が次年度も研修継続となった。

研修中は、それぞれ受入農業法人・農家の指導のもと、独立自営就農及び雇用就農へ向けて技術、知識等の習得を目指した。また、それ以外にも農地取得や経営計画の作成指導等を受入農業法人・農家及び当NPO法人が行い、円滑な就農に繋がるよう尽力した。

集合研修セミナーは、新型コロナウイルスの感染状況を判断しながら実施。年度後半のオミクロン株感染拡大後は中止・延期を余儀なくされたが、感染予防対策を徹底して計10回行った。基礎的な座学の他に、気象、資金、経営、適性・資質向上セミナー、県下の各認定研修機関所属の研修生との合同研修等の項目を実施した。市場視察、県外農業関連団体の視察は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

また、事務局長や専任職員が定期的に研修生・修了生を巡回、コロナ感染拡大中は電話やメールでも連絡を取り、必要に応じて回数を増やししながら、現況を聞き取り相談に応じ、受入農業法人・農家とも研修中の諸事及び研修修了後の進路等について協議、打合せを実施した。

2. 令和3年度 研修生進路

No.	氏名	性別	年齢	出身地	営農類型	進路
1	A	男	26	熊本県	茄子、西瓜	熊本市で独立就農
2	B	男	50	熊本県	アスパラ	阿蘇市で独立就農
3	C	男	49	熊本県	柑橘類	熊本市で独立就農
4	D	男	43	福岡県	トマト、ミニトマト	北九州市で雇用就農
5	E	女	50	熊本県	アスパラ	阿蘇市で独立就農
6	F	男	25	熊本県	ブロッコリー、西瓜、キャベツ、南瓜	熊本市で独立就農
7	G	男	26	熊本県	苺、茄子	熊本市で独立就農
8	H	男	21	熊本県	柑橘類	玉名市で親元就農
9	I	男	42	熊本県	トマト、茄子	研修継続
10	J	男	33	熊本県	ミニトマト、水稻、麦、大豆	研修継続
11	K	女	23	静岡県	肉用牛繁殖	研修継続
12	L	女	43	熊本県	柑橘類	研修継続
13	M	男	32	熊本県	柑橘類	研修継続
14	N	女	22	熊本県	ぶどう	研修継続
15	O	男	39	東京都	アスパラ	研修継続
16	P	女	36	熊本県	アスパラ	研修継続

※氏名は個人情報なので匿名とした(年齢は令和4年3月31日現在)

3.研修風景







4.巡回指導(現役研修生)

事務局長及び専任職員が、定期的に研修先を巡回し、研修生と個別に面談して研修状況や生活についてのヒアリングを実施した。研修や生活に関する悩みを聞いて相談に応じ、指導・助言を行った。必要に応じて一か月間に複数回の巡回指導を行い、都度、相談に応じた。

また、受入農業法人・農家とも研修中の課題や今後の方針、研修修了後の進路等について協議、打合せを実施して、研修後にスムーズな就農となるよう努めた。



5.巡回指導(修了生)

営農開始後、間もない修了生の圃場を事務局長及び専任職員が巡回して相談に応じ、指導・助言を行った。今後も必要に応じてフォローを継続する。

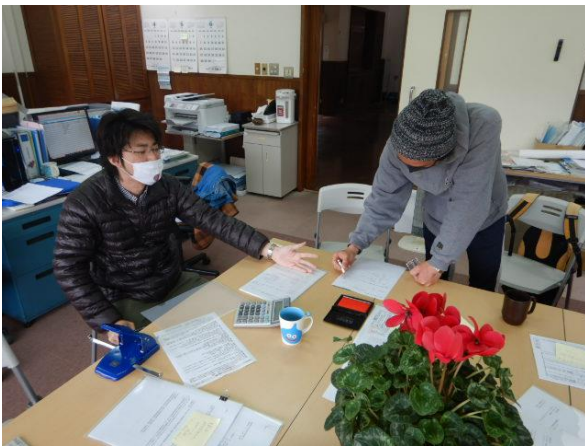


6.就農相談

就農を控えた研修生に対し、農地や諸制度に係る書類作成や手順、提出先、タイムスケジュール等の助言・指導を行った。経営計画の作成指導、助言も併せて行った。

また、就農予定地の地域振興局担当者や市町村担当者とも連絡を取って情報を共有し、円滑な就農の実現を目指した。

就農に際しては、事務局が実際に市町村窓口へ行き、担当部署と協議・打合せを実施した。卒業生も含め今後も就農時及び就農後の支援を継続する。



7.研修相談

東京、大阪で計 8 回開催された (株)ツナグ・マッチングサクセス主催「新・農業人フェア」へ出展。福岡で 1 回開催された(株)マイナビ主催「マイナビ就農 FEST」へも出展。同じく熊本で 1 回開催された熊本県新規就農支援センター主催「熊本県新規就農セミナー&就農・就業相談会」へ出展し、多くの相談者と面談を行った。その中から複数人が農業体験に訪れ、令和 3 年度に長期プロ農家育成研修に入った方もいた。また、他の研修機関とも相互連携を強化し、情報を共有した。

また、熊本県新規就農支援センター主催で予定されていた「現地研修バスツアー」に当 NPO も修了生と共に協力することになっていたが、新型コロナの感染拡大により中止になり、代わりに吉村事務局長と修了生・綿住氏が「就農への道すじ」と題してトークライブを行い、その模様が動画配信された。

募集チラシやHP、Facebook、Instagram、Twitter 等を見て連絡してきた相談者や、関係機関からの紹介で訪れた相談者にはコロナ感染防止対策を徹底し、手指消毒・検温実施後、アクリルパーテーションを挟んで対応した。コロナ禍の中、オンラインでの相談対応も多数実施した。希望する作目や地域の受入農業法人・農家とのマッチングを行い、実際に農業体験を行った相談者も多数いた。今後も随時、オンラインも含め研修相談を受付ける。





8. 集合研修セミナー

(1) 第1回集合研修セミナー

日時：令和3年4月26日(月) 13時00分～16時30分

会場：熊本県立農業大学校 研修交流館 2階会議室

内容：「新規就農者と村社会」

講師：NPO法人九州エコファーマーズセンター 事務局長 吉村孫徳

参加者：研修生11名、NPO法人九州エコファーマーズセンター1名 計12名

目的： 新規で農業へ参入するにあたり、農村の文化、気質、特徴等を学び理解する。また、区役や共同作業、祭り、寄り合い等、農村社会での役割を知り、農業の歴史、時代の流れも学び、地域集落への溶け込み方を話し合う。



研修生がそれぞれ考えを発表



講師の事務局長・吉村



真剣に話を聞く研修生達



一つの長机に一人着席で密を避ける

第1回集合研修セミナー アンケート結果

- ・大変良かった 73%
- ・良かった 27%

成果・感想

- ・人と人の繋がりが大切であると感じた
- ・地域社会で生活していく上で、色々な活動に参加した方が良いと思った
- ・村社会には暗黙のルールもある様なので覚えておきたい
- ・農村社会での「心得」、とても大切な事を学びました

(2) 開始式

日時：令和3年5月24日(月) 13時00分～13時40分

会場：熊本空港ホテル エミナース 「りんどうの間」

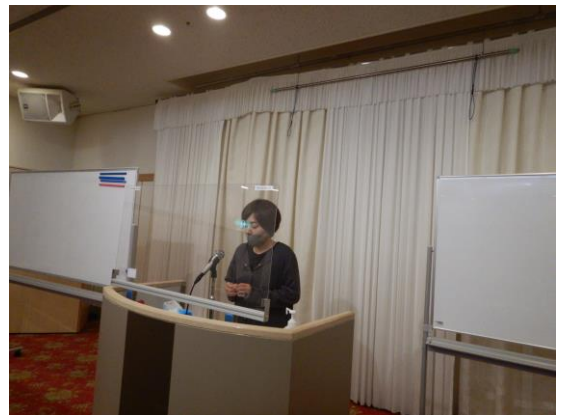
参加者：研修生14名、NPO法人九州エコファーマーズセンター4名 計18名



会長・木之内の挨拶と激励



研修生達



研修生が一人ずつ決意を述べる

(3) 第2回集合研修セミナー

期日：令和3年5月24日(月) 13時40分～17時00分

会場：熊本空港ホテル エミナース 「りんどうの間」

内容：「農業経営基礎」

講師：元・熊本県立農業大学校 副校長

熊本県農業経営同友会 参与 黒木 隆 氏

参加者：研修生 14 名、NPO 法人九州エコファーマーズセンター2名 計 16 名

目的： 家族経営及び法人経営の特徴と違いを理解し、営農生活設計について学び、個々の方向性を考えてもらう。また、農業経営に重要な点を項目毎に抽出し、把握して研修に活かす。



講義風景



講師・黒木隆 氏



ドアは全部開けて換気しながら研修



開始前の検温は毎回実施

第 2 回集合研修セミナー

- ・大変良かった 57%
- ・良かった 43%

成果

- ・具体的な目標を立てる事の重要性を理解した
- ・経営者ノートを作ろうと思う
- ・今の自分のレベルがよく分かった

・経営的視点を研修日誌に書く様にしようと思った

(4) 第3回集合研修セミナー

日時：令和3年6月29日(火) 13時00分～17時00分

会場：JA熊本教育センター 第1研修室

内容：「農業の種類と農業哲学」

講師：NPO法人九州エコファーマーズセンター 事務局長 吉村孫徳

参加者：研修生 15名、NPO法人九州エコファーマーズセンター1名 計 16名

目的： 自らが志す農業形態に加え、それ以外の農業分野も学び、その特徴及び代表的経営モデルについて学習し、それぞれの経営について考える。また、「何故、自分は農業を志したのか」という事を今一度、考えてもらい、今後の研修に対する意志を確固たるものにする。



講師の事務局長・吉村



研修風景



農業への想いを皆に話す研修生達





窓は開けた状態で研修



まずは検温



マイクは除菌・消毒して次の人へ



消毒液で手指消毒してから入室

第3回集合研修セミナー アンケート結果

- ・大変良かった 80%
- ・良かった 20%

成果

- ・自分の営農作目だけでなく農業全般を知っておく必要があると感じた
- ・記録をつける事の大切さ
- ・間口百姓と奥行百姓の違いが勉強になった
- ・皆の考えや経緯が聞けて、仲間作りに良いきっかけとなった

(5) 第4回集合研修セミナー

日時：令和3年7月29日(木) 13時00分～17時00分

会場：熊本県立農業大学校 研修交流館 2階会議室

内容：「それぞれの就農地に合った土壌分析とその活用方法」

講師：元・熊本県立農業大学校 野菜学科長

熊本県農業研究センター 土壌肥料研究室長 城 秀信 氏

参加者：研修生 14 名、NPO 法人九州エコファーマーズセンター2 名 計 16 名

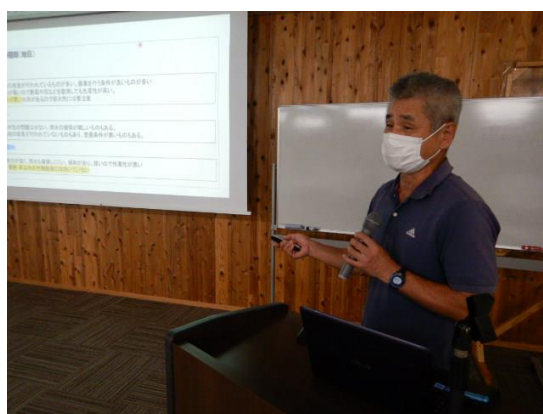
目的： 土壌の基礎を学び、作物栽培知識の土台とする。

また、現在、研修中に使用している肥料の名称、成分についての基礎知識を Q&A 方式で質問して習得し、新規就農後の農作物管理に活用してもらう。

加えて、各研修生が事前に講師へ質問票を送り、セミナー当日に回答・助言を貰う。



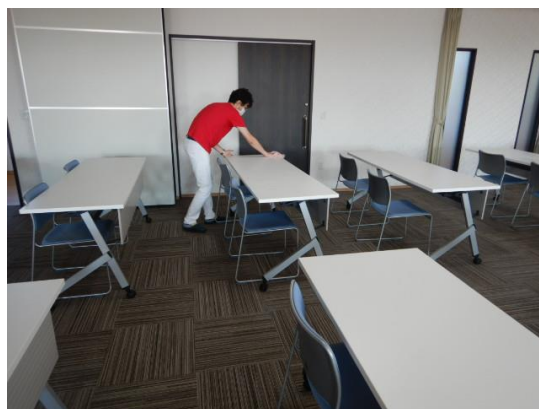
1 列空けてソーシャルディスタンス



講師・城秀信 氏



休憩時間にも手指消毒



終了後は机と椅子をアルコール消毒

第4回集合研修セミナー

- ・大変良かった 64%
- ・良かった 36%

成果

- ・土壌と微生物の関係について知る事ができた
- ・雨と pH の関係性
- ・どのような意図で使い、どのような効果があるか理解できた
- ・現在の研修圃場での収量・品質のメカニズムを知りたいと思っていたので大変参考になった

(6) 第5回集合研修セミナー

日時：令和3年8月16日(月) 13時00分～17時00分

会場：熊本県立農業大学校 研修交流館 2階会議室

内容：「病害防除①」

講師：アリスライフサイエンス(株) 日本事業部 営業本部

フィールドアドバイザー(コンサルタント) 三原 順一 氏

参加者：研修生 15名、NPO法人九州エコファーマーズセンター2名 計 17名

目的： 農薬安全使用のための基礎知識と、病害虫の基礎知識を習得し、新規就農後の農作物管理に活用してもらう。



講義風景



講師・三原順一 氏



開始前の検温



講師はパーテーション越しに講義

第5回集合研修セミナー アンケート結果

- ・大変良かった 64%
- ・良かった 29%
- ・普通 7%

成果

- ・農薬の使用回数は成分にてカウントされるので注意して確認したい
- ・研修で使用している農薬の使用法、法の説明があり、整理されて良かった
- ・環境の事まで考える良い機会になった
- ・土着天敵と天敵農薬を知る事ができた
- ・抵抗性を持った害虫の発生する仕組み、ローテーション散布の有効性

(7) 第6回集合研修セミナー

(第1回 JA 熊本中央会主催 県下新規就農研修生 合同研修会)

日時：令和3年9月1日(水) 10時00分～16時00分

会場：熊本県立農業大学校 研修交流館 2階会議室

内容：①「アグリ PLI アセスメントについて」

②「土づくり・肥料」

講師：①NPO 法人熊本県就農支援機関協議会 事務局長

NPO 法人九州エコファーマーズセンター 事務局長

NET 診断スペシャリスト 吉村 孫徳

NPO 法人熊本県就農支援機関協議会 副長

NPO 法人九州エコファーマーズセンター 就農指導員

NET 診断スペシャリスト 平岡 浩晃

②熊本県 農業技術課 主幹 柿内俊輔 氏

参加者：各認定研修機関研修生 46 名（内、当 NPO 九エコ研修生 14 名）、関係機関 7 名 計 53 名

目的：① 個人の『Problem Solving（問題解決力）』『Leadership（リーダーシップ）』

『Intrepreneurship（起業家精神）』について、「適性・資質・価値観・モチベーション」と「行動特性（コンピテンシー）」の両面から総合的に評価・測定する「農業人材適性・資質向上診断（アグリ PLI アセスメント）」。ビッグデータを基に、その人が良い悪いではなく、どういう特性や特徴があるかを認識し、その人の資質を見極め、グラフを使って視覚的に把握することで、各自の農業適性を把握し、資質向上に役立てる。その受診についての事前学習。

② 土づくりの基礎、肥料の基礎知識・使用方法及び注意点等について学習する。



当 NPO 事務局長・吉村の説明



当 NPO・平岡の解説



コロナの影響で農大会場は当 NPO 九州エコの研修生のみ、他の研修機関は県内各地からオンライン参加



講師・柿内俊輔 氏



クラスターに備えて連絡先記入

第 6 回集合研修セミナー

(第 1 回 JA 熊本中央会主催 県下新規就農研修生 合同研修会) アンケート結果

- ・大変良かった 86%
- ・良かった 24%

成果

- ・土壌診断の読み方が理解できた
- ・基本から教えて頂けた
- ・窒素過多による影響が分かった
- ・連作障害や病気の知識を得ることができた

(8) 第7回集合研修セミナー

日時：令和3年9月15日(水) 13時00分～17時00分

会場：熊本県立農業大学校 研修交流館 2階会議室

内容：「病害防除②」

講師：アリスライフサイエンス(株) 日本事業部 営業本部

フィールドアドバイザー(コンサルタント) 三原 順一 氏

参加者：研修生 14名、NPO法人九州エコファーマーズセンター2名 計 16名

目的： 害虫、ウイルス、糸状菌、細菌の生態と防除を学ぶ。

また、実際の症状を動画で原因となる害虫を見て学習する。



講義風景



講師・三原順一 氏



質疑応答の時間



ソーシャルディスタンスを保って着席

第8回集合研修セミナー アンケート結果

- ・大変良かった 71%
- ・良かった 29%

成果

- ・農薬を使用する以外の様々な方法を知る事ができて良かった
- ・性フェロモン剤のヨトウムシへの有効性
- ・天敵を入れた後の注意点が勉強になった
- ・実際の写真や動画を見る事ができたのでイメージしやすかった

(9) 第8回集合研修セミナー

(第2回 JA 熊本中央会主催 県下新規就農研修生 合同研修会)

日時：令和3年10月4日(月) 10時00分～16時00分

会場：JA 熊本教育センター 第1研修室

内容：①「土づくり・肥料(続き)」

②「気象」

講師：①熊本県 農業技術課 主幹 柿内俊輔 氏

②NPO 法人熊本県就農支援機関協議会 理事長

NPO 法人九州エコファーマーズセンター 会長

東海大学経営学部 学部長 木之内 均

参加者：各認定研修機関研修生 47 名(内、当 NPO 九州エコ研修生 14 名)、関係機関 7 名 計 54 名

目的：① 前回の講義を踏まえ、土づくり・肥料の知識・使用方法等について高度化を図る。

② 農業者に必要な要素である、気候の変化に敏感な感覚を身に付けることを目標に、気象に関する基礎知識、日本各地、更には自らの就農予定地域に於ける気候の特徴を把握し、天気図の見方も習得して農作物栽培に生かす。



講師・柿内俊輔 氏



講師の当 NPO 会長・木之内



今回もコロナの影響で JA 教育センター会場は当 NPO 九州エコの研修生のみ、他の研修機関は県内各地からオンライン参加

第8回集合研修セミナー

(第2回 JA 熊本中央会主催 県下新規就農研修生 合同研修会) アンケート結果

- ・大変良かった 86%
- ・良かった 14%

成果

- ・日誌を付ける際に気温や地温、湿度も記入しようと思う
- ・鳥や虫、植物の変化でも気候の変化を感じる事の重要性が参考になった
- ・体感、五感で変化を感じられる農業者になりたいと思った
- ・気圧や気団の影響。今日から天気図を違った視点で見ようと思う

(10) 第9回集合研修セミナー

(第3回 JA 熊本中央会主催 県下新規就農研修生 合同研修会)

日時：令和3年11月4日(木) 10時00分～16時00分

会場：JA 熊本教育センター 大ホール

内容：①「アグリ PLI アセスメントによる適性・資質向上セミナー及び自己分析」

②「農業経営の始め方」

講師：①NPO 法人熊本県就農支援機関協議会 事務局長

NPO 法人九州エコファーマーズセンター 事務局長

NET 診断スペシャリスト 吉村 孫徳

NPO 法人熊本県就農支援機関協議会 副長

NPO 法人九州エコファーマーズセンター 就農指導員

NET 診断スペシャリスト 平岡 浩晃

②N(株)日本政策金融公庫 熊本支店 農林水産事業融資第一課 課長 黒木 重光 氏

参加者：各認定研修機関研修生 45 名(内、当 NPO 九州エコ研修生 12 名)、関係機関 7 名 計 52 名

- 目的：① 事前に受診していた診断の個人別結果の表を使い、ビッグデータを基に、その人が良い悪いではなく、どういう特性や特徴があるかを認識し、その人の資質を見極め、グラフを使って視覚的に把握することで、各自の農業適性を把握し、資質向上に役立てる。
- ② 開始する上でのポイントを事例から学ぶ。また、新規就農者フォローアップ調査結果から、先輩新規就農者の独立後の現状・実際を知る。



講師の当 NPO 事務局長・吉村



講師の当 NPO 就農指導員・平岡



講師の当 NPO 事務局長・吉村が各研修生にアドバイスをしながら個別指導





当 NPO 平岡の個別指導アドバイス
明



当 NPO 平岡の PLI 結果のグラフ説



研修風景



講師：黒木重光 氏

第 9 回集合研修セミナー アンケート結果

(第 3 回 JA 熊本中央会主催 県下新規就農研修生 合同研修会) アンケート結果

- ・大変良かった 92%
- ・良かった 8%

成果

- ・自己を知る大切さを実感した
- ・苦手な面が PLI グラフで客観的に数値で分かったので、これから成長していきたいと思った
- ・様々な新規就農者の成功例・失敗例を知る事ができ、とても参考になった
- ・先輩新規就農者の色々な事例を聞き、研修期間を無駄にせず過ごそうと改めて思った

(11) 第 10 回集合研修セミナー

(第 4 回 JA 熊本中央会主催 県下新規就農研修生 合同研修会)

日時：令和3年12月1日（水） 10時00分～16時00分

会場：JA 熊本教育センター 大ホール

内容：①「農業にまつわるお金の話」

②「農業経営の仕組みと営農生活設計」

講師：①(株)日本政策金融公庫 熊本支店 農林水産事業融資第一課 課長 黒木 重光 氏

②熊本県 農業技術課 主幹 平野 智徳 氏

参加者：各認定研修機関研修生 44名(内、当 NPO 九州エコ研修生 9名)、関係機関 8名 計 52名

目的：①農業経営に必要な資金、融資、農業金融の特徴について学ぶ。

②家族農業経営の特徴と営農生活設計について学ぶ。



講師：黒木重光 氏



研修風景



メモをとる当 NPO 九州エコ研修生達

第 10 回集合研修セミナー アンケート結果

(第 4 回 JA 熊本中央会主催 県下新規就農研修生 合同研修会) アンケート結果

- ・大変良かった 89%
- ・良かった 11%

成果

- ・早目に計画を立てる大切さを実感した
- ・独立するにあたって資金の話沢山聞くことができ、すごくためになった
- ・据置期間や生産ペースを考え経営しようと思う
- ・家族経営についてデータや実例をもとに説明して頂いたので参考になった

(12) 令和 4 年 1 月以降の集合研修セミナー・修了式は延期

令和 4 年の年明けと共に、新型コロナウイルス・オミクロン株の感染が拡大した状況を鑑み、感染拡大防止の観点から 1 月～3 月に予定していた集合研修セミナー及び修了式は延期とし、感染状況を判断しながら令和 4 年度に実施することとした。